

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年3月21日

研究・研修課題名	核医学専門技師 更新試験受験
研究・研修組織名（所属）	放射線部 核医学検査室
研究・研修責任者名（所属）	山本泰司（放射線部）
共同研究・研修者名（所属）	山本泰司（放射線部）

目的及び方法、成果の内容

① 目的（800字程度）

近年は放射線検査における各モダリティの専門性が増し深い知識と専門性が必要である。核医学分野でも様々な解析が我々放射線技師にゆだねられ責任も大きくなった。そんな背景から核医学専門技師のライセンスも重要で最新情報の収集も必須である。今回、5年に1回の核医学専門技師格の更新試験を受け島根大学 核医学検査室の更なるレベルアップを行う。なお、更新試験には講習の受講も必要である。

② 方法（800字程度）

平成28年5月28日 日本医科大学において必須講習受講。認定更新に必要なポイントを申請して認定試験を受験する。受験資格は論文投稿（英語論文 2編 他）等で規定に達した。

講義

核医学臨床：脳神経核医学について講習

核医学臨床：腫瘍 骨を中心に検査の注意点 最新の検査情報

核医学臨床：心臓核医学について半導体カメラなど高精度検査についての動向や検査法

画像の基礎：我々放射線技師は臨床現場の医師がどのような画像を求めているか理解して作成する

画像処理技術1：具体的に最新装置で可能なフィルター処理など解説

画像処理技術2：様々な解析ソフト、人工知能や自動診断ソフトの現状と使用に関する注意

医薬品の安全管理：放射性医薬品調整時の注意点と安全に検査を行う基本

医療の安全管理：核医学検査部門における医療安全

装置の安全管理：日常点検や精度管理の注意点

以上の講習を受け 更新試験が行われた

③ 成果（データ等の図表を入れて2000字程度）

講習については、日常の業務を見直す上で有意義なものであった。得に核医学検査部門では新しい放射性医薬品も発売され、その最新情報や検査情報を習得するには重要な講習会であった。医療安全においても核医学に特化した医薬品標識のための注意点、検査法での注意点など安全・安心な検査施行のには必須な内容で構成されていた。最後に更新試験には合格し、今後は若手への指導に役立てる。